

社員11名で東北へ研修

(ゆりあげ)

被災地・宮城県閑上を視察

3.11の津波で8.4mの津波で住人5600人のうち756名が犠牲に



案内をいただいた格井さんのご両親も津波で命を落とされた

4/9(水)、社員11名で宮城県名取市の閑上(ゆりあげ)地区を視察。ここ閑上は14年前の東日本大震災の際、8.4mの津波が襲来。住人5,600人のうち756名が命を失った場所。

1960年5月のチリ地震の際、東北各地が津波被害を受け中、閑上だけは無傷でした。そのことが「閑上には津波は来ない」という、間違った安全神話ができてしまい被害が大きくなりました。また、防災無線が壊れており、住人に避難の案内ができなかったこと、一度避難をしたのに「家に忘れ物を」と取りに戻って犠牲になったこと、避難する車が渋滞してしまったこと、様々な要因で被害が大きくなった様子を学びました。

南海トラフ地震が来ることが予想される私たちもいざという時に「自分のいのちは自分で守る!」「とにかく早く避難をする!」ことを徹底する大切さを学びました。

震災前の閑上地区 (H19.8.11) と
震災後の閑上地区 (H23.3.13)